

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 開催日	令和元年12月6日(金)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	隅田雅春座長、栗山泰三副座長、安井博幸委員、 恒田正美委員、田村直也委員、河南克典委員、森本富夫議長
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第7号)
6. 議事の経過	<p>9:27 開議</p> <p>隅田座長 開議宣告</p> <p>■企画総務部</p> <p>日程第1 議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第7号)</p> <p>総務課・創造都市課</p> <p>【主な説明】</p> <p>補正予算書に基づき説明</p> <p>【主な質疑】</p> <p>安井委員 職員人件費について、資料の中で、時間外手当が740万円ほど、減つとるわけなんですけど、大体何時間分ぐらいのコストなんかなっていうの教えていただけますか。</p> <p>企画総務部 詳細な時間数は、把握していないんですけれども、およそ3,500時間ぐらいでございます。</p> <p>安井委員 現在、産休で休まれている正規職員の方は何名なんですか。</p> <p>企画総務部 現在育休産休で休んでいる職員は16名でございます。</p> <p>安井委員 今、16名ということを知ったんですけども、その中で育休と産休の人数の割合を教えてください。</p>

企画総務部	育休と産休の人数につきまして、産休が1名、残り育休が15名でございます。
隅田座長	職員の休職の状況なんですけど、今の説明で、2名が休職していて今は復職しておるといことですが、今現在、そういうことであれば病等で休職されておる職員はおられないという認識でいいんでしょうか。
企画総務部	資料に上げさせていただいている2名につきましては、復職をしているんですけども、実は、11月から1名、それから、12月から2名、病気休暇から分限休職に入った職員がおります。
安井委員	畑財産区の選挙がなかったというふうに今お聞きしたんですけども、直近で、畑財産区で選挙があったのは、どれぐらい前なんですか。
企画総務部	これも確実なことは把握しておりませんが、近年はほとんど無投票でされていると聞いています。
企画総務部	私どもでは、その辺の詳細につきましては、把握しておりませんので、お答えしかねるんです。
恒田委員	建物総合損害共済災害共済金（過年度分）について、7万8,000円支払いがあったということで、雑入で入ってるんですけども、被害金額って16万円というふうに聞いたと思うんですけど、たしか間違いなんですかね。
企画総務部	修繕にかかった費用が昨年度15万6,000円、7万8,000円のちょうど倍になります。2分の1相当の保険金が入ってきた。
恒田委員	2分の1っていうのがよくわからないんですけど、大体、被害相当金額が共済費用としておりてくると思うんですけども。保険自体が、一部損であれば、50%の共済金になる、という特約かなんか付いているんですかね。
企画総務部	管財契約課のほうで、事務の手続を行っているんですけども、共済につきましては風水害の場合は、共済金額は被害額の50%が支払われるという内容になっております。

■教育委員会

日程第1 議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

学校教育課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

体験教育推進事業について、自然学校で、雨天のためスノーケルやいかだ下りができなかったから減額ということなんですが、雨天の場合に、その子どもたちは、かわりにどういうことをされて、それにはどのぐらいの費用がかかったのか、ちょっとその辺説明お願いできますか。

教育委員会

今回、スノーケル体験、そしていかだ下りのほうが、雨天のために実施できなくなりまして、そのかわりに雨プログラムということで、いかだ下りのかわりに、はま遊び、そしてサンドアート、ゲーム大会、焼杉工芸体験を実施いたしました。スノーケル体験のかわりとして、ストーンアートを実施いたしました。

スノーケルを行うに当たりまして、1人当たりの単価ですが、2,450円かかっております。それが中止になったことによりまして、いろいろとサンドアートとかしておるんですけども、その中で必要となる、有償の料金のかかる、内容としまして、焼杉工芸体験ですが、こちらのほうが120円、スノーケルセンターのほうで、ストーンアート。そういう雨プログラムにかかる、体験活動が1人600円ということで、さしていただいておりますので、スノーケル体験だけで1人2,450円かかっておりますが、この焼杉工芸とスノーケルセンターのストーンアート、そういったものを足しましても雨プログラムでは720円ということになりますので、多くの額として、差が出ているというふうな状況でございました。

栗山副座長

これの参加者は何人。

教育委員会

この自然学校体験事業につきましては、全ての小学校5年生が対象になっており、344人になっております。そのうち、欠席が4人ということで、主には、体調不良等児童の、そういった都合により、欠席がございました。それ以外は全て出席ということになっております。

栗山副座長

欠席者出るのは当然なんですが、やはりね、この事業は大事な事業なんで、生きる力を育むためというようなことも、私も勉強させていただいておりますので、そういう意味でもね、そういう実施率というのを押さえていく必要があるかと思えます。

田村委員

雨プログラム、スノーケル、いかだが中止になって雨プログラムを

実施したということなんですけれども、もし私が小学生のときだったらこれはすごく、個人的には残念な気持ちになるかなと思うんですけども、子どもたちの雨プログラムの満足度といたしますか、そういったものは、調査などされているのでしょうか。

教育委員会

満足度調査の関係でございます。アンケートというものにつきましては、各学校、自然学校に係るアンケート調査というのは行っておりません。しかし、その中でなんですけれども、各学校、自然学校が終わった後に、感想文というのを各子どもたちから、とりまして、それをまとめたものがございますので、その中でいきますと、一つの小学校の分を、全て確認をしたんですが、その中では、一つの感想としてですが、「スノーケルができなくて残念だったのですが、ストーンアート等して、楽しかったです」というふうなことであったり、「スノーケルセンターで磯の観察等たくさん見られてとても楽しかったです」というようなことが書いてありまして、残念でしただけで終わるような感想文というのは、この学校での感想文を見る限りではございませんでしたので、子どもたちも大半はもう満足を、この自然学校で学んだこと、雨プログラムの活動内容については、満足を得たのかなという、考えといたしますか、になっております。

田村委員

これはちょっと質問ではないんですけども、ちょっと内容を見たとところその浜遊びやストーンアートということでもともと、予定されていたのがスノーケル、いかだ体験ということで、体を使ったものからちょっと文化芸術に近いものに、室内になるということで仕方ない部分もあると思うんですけども、今でしたらボルダリングっていうんですか、登ったりするような施設などもあったりすると思いますのでもう少し体を使うことも、交えて考えていただくと、満足度も高くなったりするのかなというふうに思いました。

安井委員

体験教育推進事業について、バス借上げ料が200万ほど減額になっておるんですが、学校教育充実事業のほうのバス借上料の減額の理由は、先ほど、伺ったんですが、こちらのほうももう少し詳しく教えてください。

教育委員会

自然学校にかかる、バスの借上料ということで、借上げをしておりました。当初、大型バスとしまして33台、そして中型バス3台ということで、予定をしておりました。この台数自体は、変わりなく、借上げをしたんですが、大型バスにつきましては、平均13万6,003円という計画をしておりましたところ、入札の結果、7万8,

582円という額になりました。また中型バスにつきましては、11万174円予定しておりましたが、6万9,152円という額になりまして、その差額として、残額が生じたものでございます。

安井委員

先ほどの自然学校のバスの件なんですけども、今、大型バスが33台で中型が3台と、合計36台なんですけども、市内の5年生の数が350人ほどですから、1台に10人ぐらいということでもいいんですか。それともこれは往復やから、20人ずつっていうふうに考えたらいいのかと思ったりもするんですけども、ただ、そうなると、20人やったら、大型を33台もいるのかなっていうのが感じるんですが、その辺のバスの定員と、それから乗車人数の件についてもう少し説明お願いできますか。

教育委員会

こちらにつきましては、今、安井委員おっしゃっていただいたように、行きの部分で1台、帰りの分で1台、現地にいる間の移動に1台というようなことになっております。連合で行っておりますので、できるだけバスのほうは有効活用させていただくんですが、30人程度の乗車というところもある場合もございますが、荷物等の関係で、学校と調整する中で、大型バス、中型バスでよいというところで、判断をさせていただいております。

栗山副座長

先ほどの、バスの件なんですけど、13万6,000円の予算ということで、入札で7万8,000円台ですか。そのように今お聞きしたんですが、かなり安くなったということは、事実で理解できるんですけど、これは、差額がちょっと6万円ほどあるので、この理由はどうなんだろうかね、当初予算が高過ぎたということなんだろうかな。

教育委員会

当初予算要求の際には、この金額につきましては近畿運輸局の示す上限額、下限額というものでございまして、下限額以下では、契約をしては違反といいますか、そのようになっておるんですが、下限額に少し、上乗せをした状態ではさせていただいております。しかしながら、入札で最終決定させていただいたものにつきましては、こちらの想定では、基本、事業所から自然学校現地に送りまして、1日目が終わりましたら、またそのバスは事業所、バスの車庫まで戻ると、そういう想定の中で、全て行き帰りというものを含めてしておりましたが、今回入札で、この金額になりましたのは、ほかに、向こうに行った後にそのバスを他のことに使われるかどうか、そこまでは確認はしてないんですが、その帰りの部分っていうのをうまく、ほかのところでも補うために、違うことに、違う団体等に使われるというふうなことで、

その分の距離であったり、時間単価が決まっておるんですけども、そういうものを削減した結果、このように半額程度の契約額で済んだというふうになっております。

栗山副座長

ある面そしたら企業努力がかなり入っておるといような理解でよろしいんですね。そうすると今後予算的にはその下限額よりちょっと上ぐらいをやはり設定されてやるということで、あんまり安いからバスの品質がどうなったのかぐらい考えられるんですけど、有効活用してやったということで、理解させてもらったらいということですね。

安井委員

今のバスの件なんですけど、ちなみに昨年度と比べて、金額的にはやっぱり大幅に下がってるんですか。

教育委員会

自然学校のバス借上料の令和元年度と平成30年度の比較ということですが、1台当たりの決算額で申し上げます。平成30年度の大型バスですが、単価8万71円でした。令和元年度は、7万8,582円ということになりますので、その差額としまして、1,489円令和元年度のほうが安くなっております。中型バスにつきましては、平成30年度6万6,696円となっております。令和元年度は6万9,152円ということになりますので、こちらについては、2,456円高くなっておりますが、これは入札の結果ということで、御報告をいたします。

森本議長

学習環境支援事業に関し、教育、保育備品について、発達支援センターで、トイレをパーテーションで仕切るという今説明をいただいたんですが、それはパーテーションで囲った中で、トイレをするのが1番ベストの案で決定されたのか、発達支援センターを運営していただく方との協議を重ねていただいてこれがベストなのか。なかなかその、ちょっと、理解ができてないんですけども、一つの教室的な中で、トイレをパーテーションで仕切る、それで果たして、それを利用させていただく方が、子どもさんが、それでうまく対応できるのかなという疑問があるんですけど、その辺の協議というか、ほかに方法がないのか、その辺も含めてちょっと御説明をお願いしたいんですけど。

教育委員会

保護者であったり、学校の指導支援員、それから協議を重ねて、教職員とも重ねて、そういった経緯に至っております。ただ、実際は、学校のトイレがありますので、そちらのほうを使用しているんですけども、実は、今年度当初、特に活動中に、少しおもらしをしてしまう場合もありまして、そういったところで急遽を簡易に設置して、緊急な対応として設置しているというふうな状況になっております。基本

は学校に設置してあるトイレを使用して、いうふうなところで、一応保護者等とも了解をとっていただいた上で設置している。

隅田座長

学校教育充実事業について、キッズサイエンス、何年間か、京都大学と連携されて、いいことだろうと思うんですが、教育委員会として、具体的にどこがいいとか、どう評価してるとか、そういうところもございましたら、説明してもらったらと思うんですが。

教育委員会

今年度で4年目になります。やはり教員が教えるのではなくて、京都大学の大学院生を中心に、いろいろと子どもたちが質問したりしますので、やはり非常に身近に、そういったことを感じて、実験等に本当に楽しんで取り組んでいる姿が見受けられます。特にここ近年見られますのは家から、自分で自由研究をしてるんだけど、ちょっとわからないところがあってという質問を、京都大学の大学院生に投げかけたりとか、実際にそこで体験をするだけでなく、持ち込みで質問をしたりとか、そういったような姿も見受けられてきて、本当に今、学校の授業で進めておりますそういう主体的対話的で深い学びという、みずからこう対話を求めて、それを通して疑問解決していくというような、子どもたちにそういった力がつきつつあるなど。それと教えておられる大学院生の皆様も、非常に子どもと接することで、子どもたちに本当によいイメージを持ってくださっているということが、本当に成果かなというふうに思っております。

隅田座長

今後も続けて、ずっとはわかりませんが、ある程度は、見込めるということでもいいんでしょうか。

教育委員会

今年は岡野隕鉄等の特別ステージ等もあったんですけどもそういった篠山に特化した、そういった科学分野に特化せず、非常にふるさと教育と一体化させて、いろんな取り組みを加えて工夫をしながら、今後も継続して取り組んでいく方向にあります。

学事課・社会教育課・文化財課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

スクールバス管理事業について、養護学校のスクールバスの減額なんですが、14人乗りと20人乗りの2台という説明でしたが、減額

教育委員会	<p>の2台の内訳っていうのを教えていただけますか。</p>
教育委員会	<p>まず、14人乗りの分なんですけど、予算額が405万7,955円に対しまして、契約額が350万9,340円で54万8,615円の減。20人乗り、車いす対応ですが、予算額が1,183万1,010円に対しまして、契約額が996万3,822円、186万7,188円の減ということになっております。</p>
恒田委員	<p>スクールバス管理事業の中で、当初予算のときに、聞かせてもらったのかもわからないですけども、この2台の納車時期、納車計画はどのようなものだったのかお尋ねしたいんです。先ほど、14人乗りが9月納車であったと、そして20人乗りではね、2月納車であったということだったんですけど。</p>
教育委員会	<p>まず14人乗りのタイプにつきましては市販のものになりますので、消費税増税前の納車を予定しておりました。20人乗りのリフト付きにつきましては、改造が伴うために、多少、期間っていうのがかかる前提でございまして、業者にも確認したところ、年内2月末の納車予定ということで計画させていただきました。</p>
隅田座長	<p>予定どおりということでもいいんでしょうか。</p>
教育委員会	<p>当初の予定どおりでございます。</p>
恒田委員	<p>消費税の関係があったんで、1台については、9月末で間に合ったかと。そしたら、20人乗りも消費税のことを考えられるのであれば、4月に発注すれば、9月の末で納車が可能だったんじゃないかと思うんですけどね。先ほど、20人乗りも8月発注という話があったと思うんですけども、いかがなんですか。その辺の消費税に対する考え方であれば。</p>
教育委員会	<p>20人乗りのリフト付きにつきましては、福祉車両になるため、消費税非課税となっております。</p>
河南委員	<p>東京2020聖火リレーオリンピック実施関連業務委託に関する債務負担行為について、今、このオリンピックの警備とかいうような形で、債務負担行為で1,256万7,000円。警備、これ大体どれぐらいの人数を想定されてるのですか。きょうも、新聞に出とったけど、花火大会が警備員がいなくて中止になるというようなことだった。大体、何人ぐらい予定されているのですか。</p>
教育委員会	<p>警備会社関係、警備作業等で100人を予定しております。</p>
河南委員	<p>これ時期は5月ごろでしたかね、確か。オリンピックと重ならないんですけど、たしか花火大会が中止になったのも100人ぐらいの規</p>

	<p>模、と書いてあったと思う。だからそれは、代替確保できるというような形で話はもうできているわけですか。</p>
教育委員会	<p>今おっしゃられたようにいろんなところで取り合いになるということもありますので、今年度から契約をして、人を集めるための努力を先にさせていただいて、それから令和2年度、本番を迎えるということも含めて計画をしております。</p>
河南委員	<p>早めに手を打ってもらって、めったにないイベントですからこれやってほしいと思うんですけど、もう一つね、これは直接関係ないと思うんですけど、オリンピックの火を残すようなことを、どっかにね。今後検討されたらどうかと、このように思いますのでこれは意見として言っておきます。</p>
田村委員	<p>債務負担行為補正について、東京2020聖火リレーオリンピック実施関連業務委託について、セレブレーション自体の時間というのは、大体何時間ぐらいで計画されているのでしょうか。</p>
教育委員会	<p>大体オープニングプログラムとして1時間45分程度の計画でおります。そのあとランナーが到着して最終到着セレモニーがございますので、それが20分程度という予定で、大体2時間を少し超えるぐらいというところで今予定をされております。</p>
栗山副座長	<p>セレモニーということで約700万円の予算を組まれているということですが、具体的にどういうセレモニーをされるのですか。</p>
教育委員会	<p>まず、オープニングプログラムとして開会の挨拶がございます。その後実行委員会提供プログラムとして、丹波篠山市で担当する部分があります。そのあとプレゼンティングパートナー各社、これはNTTであったりトヨタであったりという、オリンピックそのもののスポンサー各社がされるプログラムがあります。そのあとに最終の聖火ランナーが到着をしまして、そのあとランナーのトーチから聖火皿への点火をします。そのあと実行委員会代表挨拶があり、フォトセッション、写真撮影等があります。実行委員会、ランナーが退場されて閉会の挨拶というふうな流れで進んでいく予定でございます。</p>
栗山副座長	<p>セレモニー費用の約700万円の内訳的なことを教えていただけますか。</p>
教育委員会	<p>まず会場設営費で約200万円、ステージの音響等で約200万円、テント設営約30万円程度、自主警備で約100万円、司会、ゲスト等で約100万円、あと広報活動で約70万円、いうふうに考えております。</p>

安井委員	オリンピックの関係ですけれども、警備員100人という、その100人の根拠ってどうか、100人はどういうことで、100人になったのかということの説明お願いできますか。
教育委員会	警備員につきましては基本的にこの三の丸広場周辺ですとか、ルート上の警備ということで主要交差点をピックアップして算出したものと、実際ルート上を走られるランナーと観客席というか、観客等との仕切りをつくりますので、そこに何名か配置するというようなことを考えておりました積算で100名ということで算出しております。
田村委員	同じく、東京2020の関連事業についてなんですけれども、こちらは、東京2020の実行委員会や企業などからの補助金的なものは、警備やセレブレーションについてあるんでしょうか。それとも全額市持ちなのでしょうか。
教育委員会	実施に当たっては市の予算で実施をするということになっておりますので、基本的には補助はございません。
田村委員	これはちょっと質問ではないのですが先日も、東京で開かれた、セレモニーと申しますか、機運醸成を図る自治体向けの東京2020催しに参加させていただいたのですが先日も、東京2020参画プログラムというものがありますので、それと各市に元からある物を結びつけて、東京オリンピックと各自治体両方を盛り上げて地方創生につなげていこうというようなプログラムがありますのでそちらのほうもぜひ活用していただいて、気運醸成を図って丹波篠山のほうでも盛り上げていただけたらと思います。
栗山副座長	先ほどのオリンピックの聖火リレーの件ですが、100人警備員ということで100万円の予算と聞かせていただいたのですが、1人、1万円というような金額が出てくるのですが、それが時間的に高いか安いかということについてはいかがですか。
教育委員会	100人で100万円ということではなくて、先ほど言いました聖火リレーとセレモニーと、両方の警備がありますので、単価的には、1人2万2,500円程度の額を積算の根拠としております。
栗山副座長	1人2万2,500円というのは、言うなれば、警備の相場なんですか。
教育委員会	はい。現状はその程度の金額になってございます。
栗山副座長	少し高いような気がするのですが。
教育委員会	聖火リレーのほうでいろいろ御質問いただいておりますけれども、聖火リレーに関しましては県の実行委員会のほうから、聖火リレ

一、特に丹波篠山市は、リレーとセレブレーションを受けるということで、ある程度県のほうからこれだけぐらいは用意をしておいてほしいというふうなことで、例えば今出ておりました警備員であれば、これだけで、特に丹波篠山市のほうは9月に組織委員会のほうからロケハンという形で入っていただいて、現地を見ていただいて、これぐらいは必要であろう。それから、セレブレーションの場所についても見ていただいて、ある程度の絵も書いていただいている状況です。そういったことも踏まえて、これだけの費用は、リレー、それからセレブレーションを受ける限りは、予算措置をしてほしいというふうなところでございますので、そういうことで今回債務負担として起こしておりますので、今後、具体的になっていく段階でですね、費用のことも少し詳細に詰めていきたいなと思いますけれども、そういった提示のもとでこういう債務負担を、お願いするというような状況でございますので、御理解いただきたい。

隅田座長

文化財保護費について、いよいよ来年5月に伝建地区の総会があるんですが、大体イメージとして、どのような総会になるのかなという。

総会の中身、形式と記念という言葉が出てきたんですが、どういう形の記念品を考えておられるのか、そのあたり説明をお願いしたいと思います。

教育委員会

伝建大会の概要でございますけども、まず5月20日から3日間、20、21、22日と2泊3日で開催いたします。

それで事前アンケートを参加市町村にとっております。現在のところ約350名の参加ということで、回答が返ってきております。首長など特別職につきましては、約20名ということで回答が返ってきています。これに加えて、伝建の国会議連がありますので、議員さんですとか、あと県関係の方などが参加される予定です。

内容としましては、総会研修会ということですので、伝建協議会の総会のあと現地視察、これは2日間にわたって城下町地区と福住地区を実施する予定です。宿泊も伴う大会になりますので、JTBさん、そういった旅行会社とも連携しながら現在準備を進めているところでございます。

それと記念品についてです。今回、立杭焼のほうで記念品を考えてるところです。実行委員会が立ち上がっておりますので、こちらのほうで今後諮っていくことになると思いますけれども、記念品につきましては立杭焼と、あと手提げバックっていうのがありまして大会の資料

が非常に分厚く重くなるもので、ちょっと私が現在使っておりますこういったものですね、布製の割としっかりしたものでここに大会の地区名が入ったりするようなもの。こういったものの、経費を今回、準備に時間がかかりますので、計上させていただいております。

隅田座長

もう一度現地視察といいますか、研修の形なんですけど、非常にたくさんの方が、例えば何班かに分かれて、そこを素通りされるのか、例えばそこで飲食もされるのか、もう少し詳しく説明をお願いしたいと思うんですけど。

教育委員会

現地視察ですけども、初日は総会が行われますので、2日目に城下町地区を午前中に行います。参加人数はやはり320名程度のご予定です。それで、3日目が午前中に福住地区の現地視察ということになります。今現在コースにつきましてはまだ未確定なんですけども、やはり休憩所等もつくらなければなりませんし、班編成に関しましては、約12班から15班ぐらいの編成になります。

福住のほうは、3日目ですので若干人数が減って、250名のご予定でございますので10班編成ぐらいということですので、やはりその辺はバスを使いながら、基本的には現地を歩いていただきながら、各ポイントの見学施設なり、建築物を見ていただくというような内容になってまいります。

隅田座長

例えば班には各1人ずつガイドはつくとか、つかないとか、そのあたりどうなんでしょうかね。

教育委員会

各班のガイドにつきましては、地元の方がそれぞれ今、ガイドの研修会ですとか、ワークショップをしながら、進めているところですけども、地元の方がメインで1人つかれます。副でガイドが、もう一人地元でつかれます。それと各班に行政職を1名配置して時間管理等を行っていく。

栗山副座長

先ほどの伝建地区の総会に絡んだんですけど、350人の方が丹波篠山にこられるということで、JTBですか、いろんな連携とられてるのは大変ありがたいことだと思うんですけど、宿泊をできますれば丹波篠山で対応が無理かどうかいうところなんですけど、その辺はどうです。

教育委員会

市内の宿泊のところは、やはり相部屋が多くてですね、シングルルームが少ないということもありまして、市内では足りないという状況でございます。ですので、三田市方面も含めてですね、市外も含めて、今、押さえにかかっているということなんです。ただ350名つ

ていうのはアンケートですので、ひょっとしたらふえるかもしれないですし、減るかもしれないということでアンケート結果というふうに捉えていただければ。

栗山副座長

そしたら、丹波篠山市とそれ以外というのは、人数の内訳的などはどのような押さえられたんですか。

教育委員会

シングルルームと相部屋の関係がございまして、皆さん相部屋で納得していただければ、大方は篠山でおさまるんですけども、多分ですね、やはり、現在はシングル希望される方多いですので、どうしても2人部屋とかでしたら、もし1人で押さえられたり、相部屋にしても、違う市町村の方と一緒にするっていうのは難しい面もあると思いますので、その辺は、いったいどれだけ相部屋を使っていたかというところで大きく変わってきます。その辺はちょっとまだこれから調査させて進めていく予定ですので、ちょっとはつきりと申し上げられませんが、ただ市内では間に合わないということだけ申し上げておきます。

栗山副座長

できるだけ、市内の宿泊施設を使っただくことが1番大事じゃないかと思うんです。丹波篠山の食材を食べていただいて、そのことも、伝建地区の行事に大きく要素があると思いますので、その辺もよろしく願いいたします。これは要望ですが。

教育委員会

いろいろ御意見ありがとうございます。今、栗山副座長のほうから言われたことは、こちら教育委員会としても十分わかっておりますので、全部市外に宿泊ということではなくてまずは、市内で対応できるものについては市内で対応いただいて、やっぱりいわゆる課長がいったとおりシングルの御希望が多ございますので、ないものについては市外に頼らざるをえないという状況ですので、今言われたとおり、一つの経済的な効果もあろうかと思っておりますので、市内に宿泊いただけるように、そういうふうにはできるだけ配慮していきたいと思っております。

東部学校給食センター・中央図書館・こども未来課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

東部学校給食センター管理費について、生ごみ処理機の件なんです

けども、今新しいものでは水と二酸化炭素が出るというふうに説明を受けたんですけど、それ以外のかすとか残渣とか、それについてもう少し教えてください。

教育委員会

このタイプは、中に入れてる発酵材が、野菜くず等については、全て、発酵して、跡形なくしてしまうということで聞いております。実際西脇市のほうでその処理が、その機械が入ってございまして、私もそれを1度、見に行かしてもらったんですけど、まさに、水と二酸化炭素だけになって、翌日になるとものがなくなるということになってございます。

安井委員

生ごみ処理機というと、やっぱりそれをあと肥料か何かで使えるのかなと思ってたもんですから、それを使うことはできないってことですよね。要するに水と二酸化炭素しかないわけやから。ただ、きれいに処分ができるというふうに理解したらいいんですね。

教育委員会

今委員おっしゃったような形にはなります。それで、今東部のほうはもう1台、残飯用の食べ残し用のごみ処理機がありまして、そちらのほうは発酵式の堆肥化タイプで、そちらのほうで堆肥を作りまして、学校とかに配布をしているというところでございます。

田村委員

今の東部学校給食センターの生ごみ処理機についてなんですけれどもコストが削減されるということなんですけど年間どれぐらいの電気代などのコスト削減が見込まれるのかなと思ったのと、あと先ほどの安井委員の質問にもあったその回答は、全て水と二酸化炭素ですか、例えば、チッソやマグネシウムやリンなどはどこに行ってしまうのかなという疑問が生じたので、また調べていただけるとありがたいかなと思います。

教育委員会

まずコストのほうなんですけど、主に電気代のほうが大きくかかってまして、今現状のものと、5,300ワットの消費、最大消費電力となっております。今回入れよとするものが300ワットです。したがって、24時間365日ですね、動かしたと仮定いたしまして、高熱方ですと、93万7,000円ほどの電気代がいるのに対しまして、今回のバイオ式のものにつきましては、年間で5万3,000円ほどということになりまして、この電気代そのままが安くなるわけじゃないんですが、稼働する日数も違いますし、時間も違いますので、おおよそこういった形で、大きくコストが削減できるということでございます。

それともう1点、リンとかですねそういったものもちよっと、言い

	方に語弊があったんですが、水に含まったような形で下水として処理をされるということでございます。
田村委員	以前の高熱式のものでは5, 300ワットで93.7万円ほど、365日稼働するとそれぐらいかかるということなんですけど実際にはどれぐらいの電気代がかかってたんでしょうか。年間なんですけれども。
教育委員会	高熱型のほうは最大消費電力を5, 300ワットと仮定いたしましてですけども、給食のおよそ、提供、稼働日数が190日、年間190日、高熱型の1日稼働時間がおよそ、投入してから10時間程度で乾燥してしまいますので、あと電気代単価を当センターの単価で20.2円という形で計算いたしますと20万3,000円程度のコスト削減といたしますか、高熱型を使えば20万3,000円程度の電気代が必要であったということで、それより消費電力が5, 300ワットですから、ずっと電気代、消費電力は下がってきますので、このままの額ではないんですが、およその目安として、お答えいたします。
安井委員	新しく導入される学校給食センターの生ごみ処理機ですけども、一応耐用年数としては何年ぐらいのものなんでしょうか。
教育委員会	およそ10年でございます。
安井委員	以前使われてたのは、何年使われてて今回の更新になったんでしょうか。
教育委員会	平成11年から入れておまして、故障しますと修繕とかしてまして、今まで使ってきたということでございます。
隅田座長	20年ですね。
安井委員	そうすると今回導入されたのも、10年の耐用年数っていうことやけども、修理とかしたら20年ぐらいは、最終的に使えるだろうというふうに思ってよろしいんでしょうか。
教育委員会	委員おっしゃるとおり、部品の供給期間も10年ほどございますので、約20年は使えるかなと思っております。
河南委員	図書館管理運営費について、中央図書館でガラスが破損したという、これは、外部から割れたっていうか、内部から割れたのか、破損したのか、この辺はいかがでしょうか。
教育委員会	外部からでございます。ちょっと原因は何かわからないんですけども、下から50cmぐらいのところ、外部から何か当たって割れている状況でございます。
河南委員	東側西側のそれぐらいのところだったら車も石跳ねるところでもな

	<p>いし、やっぱりちょっとその辺何か対策も。防犯カメラやないけども、何かそういうことをちょっと考えていかな、夜になるとあそこ死角になるんでね。もうそんなことも今後、考えていかなあかんじゃないかなと、こう思うますんで。</p>
恒田委員	<p>放課後児童対策事業について、非常勤嘱託員等報酬で途中退職されたというふうに先ほど説明があったのと、味間認定こども園費でも、非常勤嘱託員等報酬359万5,000円が減額になってるんですけども、どちらも非常勤嘱託員さんがいらっしゃらない状態だと思うんですけども、あとで違うところで費用は発生してるんですけども、こういう形でいいんですかね。来年度に向けて心配なんですけど、その辺どうなんですか。</p>
教育委員会	<p>途中退職があったところについては、補充できたが、味間こども園については現在も募集中ということで、なかなか難しい状況が続いております。対応としましては、派遣支援員にお世話になって、対応しています。来年度についても、こういうことが続くと本当に、現場が大変になりますので、来年の採用の時期も間もなく来てますので、しっかりとアピールしながら、人材確保に努めたいと考えております。</p>
恒田委員	<p>多分おおよそ認定こども園で預かれる子どもさんの数は、把握されていると思うんで、しっかりとその辺手だてをしていただきたいと思うところです。</p>
田村委員	<p>放課後児童対策事業のところなんですけども指導員2名が途中退職されたということなんですけれども、どのくらいの期間働いておられた方々が、どのような理由でおやめになられたかというのは把握されておられますでしょうか。</p>
教育委員会	<p>手元に資料がございませんのではっきりこの期間とかは申し上げられませんが、1名は1か月くらいで体調を崩され、退職ということになったのと、もう1名につきましては、持病があって、何とかということで頑張っておられたんですけども、やっぱり続けていくのは難しいということで、途中での退職ということになりました。</p>
河南委員	<p>味間認定こども園で採用できなかったというので、これでそれによる待機児童がふえたとかそういうようなことは、あるんですか。今現在、何人くらい待機されてる方があるのか。</p>
教育委員会	<p>味間につきましては、今回減額しているのは非常勤のこども支援員とこども指導員ということで、こちらに関しては、待機児童は全く関係のないところではあります。今、待ってもらってるのは、味間に</p>

<p>河南委員</p>	<p>いては、1人という状況です。</p> <p>待機が1人であればそれはそれでしゃあないかなと思うんですけども、勤務条件としてちょいちょい聞くのはね、四季の森グラウンドから、これから特に冬場とかなってくると駐車場が遠いということもよく聞くわけですね。この辺もやっぱり、待遇改善やないんですけども、部長、何かちょっと考えていかなあかんのやないかなと。そういう声はないですか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>当初は、少しそういう声も聞いてたんですけども最近は、直接は聞いていません。</p>
<p>田村委員</p>	<p>今、味間の待機児童が1名になったということで以前、2歳、1歳、0歳、たしか3名だったと思うんですけども、現在の待機児童の1名の方は何歳の方。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>味間認定こども園で現在待機になっている児童については、現在1歳児クラスになります。</p>
<p>森本議長</p>	<p>先ほどから味間認定こども園の支援員の募集しておられますが、なかなか集まらないということも踏まえて、市内の保育園、幼稚園、認定こども園、また所管してはる指導員さんの充足度は今現在、どうか。</p> <p>そして無償化で来年から当然に、児童がふえるんじゃないかと言われておる中で、来年度に向けての、それこそ採用の目安といいますか、状況といいますか。募集しても応募があるのかなのかというのは非常に心配するんですけど、その辺も含めて今の状況をちょっと少しおつなぎいただきたいと思うんですけど。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>充足度から言いますと、ちょっと割合は、パーセントでないんですけど、実際に担任が産休に入ったんですけども、そこもなかなか次の担任が見つからないという現状がございます。対応としましては、先ほどの派遣の職員にずっと継続的に入ってもらうような形で対応しておるんですけども、そういったところで、正規職員といいますかそのフルタイムが見つかっていないというのは実際あります。あと、非常勤関係が、大体100%近いところまで来てるんですけども、もうあと1人2人というところが足りないということで、今も継続して募集をかけているというような状況でございます。来年度に向けてなんですけれども、これはもう丹波篠山市に限らずですが、会計年度職員制度のほうを導入されて、本年度よりも、総額では給料のほうも上がっていくというようなことがありますので、何とか1人でも多くの方に興味を持っていただいて、応募いただくよう、何らかの形で募集</p>

<p>森本議長</p>	<p>の範囲を広げ、確保に努めていきたいなど。</p> <p>先ほど待機児童の話もありましたし、子育ていちばんを謳うまちとして、担当部署だけでは対応できないことがあるかもしれませんので、担当部署としてしっかりとPRしていただいて、教育委員会としてもしっかりと取り組んでいただいて、そのような待機児童が出ないように、子どもに、そして現場に負担をかけないようによろしく願いをしたいと思います。</p>
<p>隅田座長</p>	<p>味間認定こども園費及び幼稚園管理費の園児給食費援助費について、低所得、給食費の援助等が出ておるんですが、児童自体は減ってきておると思っておるんですけども、説明できる範囲で、低所得者の数とか、どういう状況かというのは説明できますかね。増加傾向とか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>今回補正を上げさせていただいてる分として、まず幼稚園の方なんですけれども、低所得者層でこの給食扶助費の対象になっておられる方が、現在55人いらっしゃいます。あと補正にかかわってきますのが、味間認定こども園のほうです。こちらのほうが現在11名となっております。これが増加傾向にあるのかどうかということなんですけれども、正直毎年、極端に変わりますので、傾向としては、ちょっとなかなか申し上げにくいところがございます。ただ今回につきましては幼児教育の無償化に関係しまして、特に低所得者層の給食費ですね、給食費は無償化になりませんので、低所得者層の給食費について、免除するよというように国から通知が来ておりますので、それに伴って増加をした部分もございますので、先ほど申し上げた人数につきましては、例年よりもかなりふえた人数となっております。</p>
<p>栗山副座長</p>	<p>先ほど低所得者層の、いわゆる給食費の無償化について、国のほうから、無料にするよという指導があったということですので、市としては、その辺について、考え方は補助するということになるかと思うんですが、いかがなんですか。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>国が通知をしておるとおりに、低所得者層の給食費については、減額をして免除をしております。</p>
<p>栗山副座長</p>	<p>無償化するのは限られた方になつとるわけですね、それは続いとるということで、了解しました。</p>
<p>安井委員</p>	<p>こども未来課の低所得者への給食費の免除の件なんですけども、国から通達が来たということなんですけども、通達に伴って交付金というか、財政的なことは来てるんですか。それとも、こうやってしなさいやけども、金は自分とこでしてねっていう、そういうふうに理解し</p>

教育委員会	<p>たらいいんですが、どちらですか。</p> <p>国で明確に補填をするというふうなことになっておりますので、その心配はないかなと思っております。</p>
隅田座長	<p>幼保一体化推進事業について、委員5名増えて謝金10万8,000円増額ということですが、新聞で議論の末、方向性が決まったというふうな形で記事が出ておったんですが、今報告できる範囲で報告お願いしたいと思うんですけど、いかがでしょうか。</p>
教育委員会	<p>この件に関しましては、この初日のときに市長のほうから報告がございましたけれども、もうあれが全てで、いろんな意見が出ましたが、最終的に、現状の私立2園と、公立の3園をそのまま残した上で、どこかに1か所、預かり保育を開設するという形で、方向性のほうは決定をいたしました。今後、どの場所で預かりをするのかとか、詳細について詰めていって、一応ですけど、令和3年の4月からその預かりが開設できるようにということで、今取り組んでいるところです。</p>
河南委員	<p>ちょっと確認だけしときたいんですけど、たき認定こども園のね、外壁のカラー、議会報告会で言われたんですけど、ちょっと暗いんちゃうかと。そんなときはもう、検討委員会で検討して色決めとるやろというような回答はしたんですけど、結局検討委員会でやってもうたわけですね。色とかそういうことは、たき認定こども園。</p>
教育委員会	<p>たきこども園の新築の際にはそういった検討委員会というものはございませんで、行政サイドで進めさせていただいたということになります。外壁の色につきましては、確かにおっしゃるように暗いといえれば暗いんですけども、その景観条例がございまして、やはり明度の基準があるんです。それを超えるような、極端に明るいような色の大きな建物というのは建築が難しいという部分と、そもそものコンセプトとして、周辺の農村といいますか田園風景にマッチするような、色合いでというふうなことでそれは、こちらのコンセプトとしてもございましたので、少し落ちついた色ということでさせていただいております。</p>
河南委員	<p>補正予算とは関係ないんですけど、意見が地元から出ておったということだけつないでおきます。</p>
<p>■行政経営部</p>	
<p>日程第1 議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）</p>	

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 地域振興基金繰入金の438万1,000円なんですけども、これもちょっと内容を詳しく教えてください。

行政経営部 地域振興基金繰入金の438万1,000円についてです。先ほど申し上げた観光おもてなし事業で、商工観光課が担当しております宿泊施設の魅力アップ事業という旅館施設等の当たってる分です。宿泊施設を改修する者に対する申請が多くなる見込みであることから、347万円を追加です。商工振興費の起業支援事業では、定住促進地区等での申請が4件程度ふえてくる見込みであるということから、280万円、予算の残額もありますから差額でいきますと206万9,000円になります。まちづくり活動推進費で、これは市民協働課が担当しておりますが、まちづくり協議会等に支給してます活動資金の交付金事業が確定したことによりまして71万1,000円の減額。同じく市民活動推進費、これも市民協働課が担当していますが、市民活動助成金、市民プラザ等に登録されております市民活動団体への活動支援ということで設けました補助金ですが、事業費が確定したことから、98万7,000円を減額するといった内容になります。

安井委員 宅地開発関連事業基金繰入金の310万6,000円なんですけど、これ今先ほど、エレベーターのことやと言われたんで、何か名前と実際とは違う感じがするんですけど、ちょっとその辺、もうちょっと詳しく教えてください。

行政経営部 当事業は宅地開発関連事業基金の活用で、この基金の目的が宅地開発事業等に伴い必要となる公共施設及び、公益施設を整備する事業というのが目的になっております。宅地開発や人口増に伴いまして駅の整備等も行ってきました。この施設を管理するということから今回、駅のエレベーターの制御盤の工事に充当させていただいたということでございます。

安井委員 300万円ほど、思ったより安くついたっていうのは、駅のエレベーター自体がもうできて25年ぐらいたつのかなと思うんですけども、いやそろそろ部品がなくなるからやばいんだといって、地域整備課の方から聞いたこともあるんですけども、300万円ほど、思った

行政経営部	より安くなったっていうのはどういう原因だったんでしょうか。
	301万6,000円は事業費確定の減額補正をさせていただいております。事業費としましては、2,072万9,500円となっております。当初予算が、2,383万6,000円でありましたので、その差額の301万6,000円を減額させていただいておりますということになります。
恒田委員	財産管理費について、消耗品のコピー用紙代が15%アップしたからということだったんですけど、これ年度当初から15%アップしていたものなんですか、どうなんですか。先ほど、用紙の裏側を使って使用するかという話があったと思うんですけども、
行政経営部	まず年度当初、単価契約を結ぶんです。その時点で、もう20%上がってるのはわかってたんですけども、使用状況等、確認した上で、最終的15%程度足りないということで今回上げさせていただきました。
恒田委員	15%足りなくなりました。20%ぐらい年度当初に高くなるであろうという予算やったんですよね。それが今になって15%ぐらい足りなくなっちゃったっていう意味がちょっとわからないんで申しわけない。
行政経営部	年度当初、そのままいくと20%足りないという状態に、そのままやたらなる可能性が高かったんですけども、要は、5%程度は何とかやりくりして、もう当初の見込みよりも安くなって15%、それでも15%程度は、今回要求せんと回らなかったと。回らないような状況になるということで上げております。
行政経営部	コピー用紙については、ほぼ庁舎全体のコピー用紙について管財契約課で管理をしておりますので、申しあげましたように年度当初に、納入業者のほうから入札をしまして、単価で契約をするということになっておりますので、あくまでも予算については、入札前でございますので、前年度の実績をベースに予算を組ませていただいております。当初予算については、それが4月1日に入札をした段階で、20%単価が上がってしまったということで、担当者としては、できるだけ使用を抑えるようにという指示をしたり、裏紙についてはもうこれまでからやってきておる取り組みですけれども、そういった削減の努力をいたしましたけども、どうしてもこのままいくと最終的に不足が生じる見込みであるということで、今回補正をお願いしておるいう状況でございます。
安井委員	今の部長の説明でちょっと考えたんですけども、紙の使用枚数とし

ては5%ぐらい減らしたけれども、20%ぐらい単価が上がったから、差し引き15%の不足になるというふうに理解していいんですかね。

行政経営部

はい、そういうことです。

恒田委員

コピー用紙なんですけど、先ほどの部長の説明では昨年度並みの予算を立てたと。30年度分のコピーの費用はこれぐらいだったっていう、でも予算をつくるときには20%増ぐらいになりますよっていうことをされたのであれば、20%増の予算を立てなかったといけなかったんじゃないですか。で、努力の結果5%くらい下がったと言われたんで。それもともと120%ぐらい予算で必要だったんじゃないですか。

行政経営部

予算の段階では、単価については当然予算については12月から1月の段階で、前の年度のですね、当初予算を編成いたしますので、そのときの単価と、枚数を掛けて予算を計上させていただいてます。そのときの単価は今、4月1日に入札をしていただいた単価、それが仮に1枚1円やったとします。それが、4月1日に新しい年度が始まりました時点で、その日に入札をさせていただいて、1円が1円20銭になったと。入札結果ということで、単価が20%上がってしまったということになりますので、同じ枚数を使用すると、20%不足するという結果になりますので、執行の段階で極力おさえてきましたけれども、最終ちょっと不足が生じる見込みであるという説明ですとちょっとわかりにくい説明になってしまったかもしれませんが、そういう状況です。

恒田委員

そしたら予定価格と予算額がありますよね。予定価格を入れて入札されたはずですよ。枚数でされたんですかね。金額ベースで予算をされたら、コピー用紙が20%減で落ちてしまったということで、いいということですよ。足りなくなったから、あと15%を足しましょうということに、いいですよ。予算ベースでされたっていうことでね、枚数を。

行政経営部

契約に当たりましては単価入札というような入札というか、この場合は見積徴収でやってるんですけども、単価を入れてもらうという形をとっております。予算要求時には当然その時点の単価っていうのは使ってるんですけども、価格の変動とか、その辺は、正直入札時には入札する際、それが4月の、3月末ぐらいにはおおよそ高くなるというのもわかっておりますので、その単価を設計価格、そして見積もりを徴収いたしました。その範囲内で契約ができたんですけども結

果として、20%程度、当初見込んだよりも、単価でいうと上がってしまったということでございます。

栗山副座長

公民館改修助成事業についてなんですが、上板井の公民館の改修工事ということで、2,380万円ですか、事業の補助金ですね、総額で500万円ということなんですが、もうちょっと説明お願いできますか。

行政経営部

上板井の自治会が今回、新築工事をされます。それにかかる費用が2,380万円という経費がかかります。そのうち、市の助成事業、規則で決まってるんですがそれが、新築の場合、500万円が上限。それと、事業費の2分の1、どちらか低いほうですね、今回の場合でしたら建築費の2分の1では、1,200万円弱ぐらいになりますんで、新築の上限である500万円を助成するということですので、助成するに当たりましては現在、現計予算の残額っていうのが、約430万円程度でございますので、それと、それだけではちょっと補いませんので、今回65万6,000円をプラスして、500万円を助成するということになります。

栗山副座長

このほかの地区でも、またね、まずこういう公民館の助成ちゅうのはあり得るかと思うんですが、助成は500万円が限度ということなんで仕方がないんですが、公民館は大事な施設なんでいたし方ないとは思いますが。

■選挙管理委員会

日程第1 議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

選挙管理委員会

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

篠山町畑財産区議会議員選挙について、今まで1度も選挙っていうのはされたことがないというふうに聞いてまして、ずっと無投票でこれからも、市内に財産区っていう畑だけですよね、何でここだけが選挙せないかんというふうになっとなつて、かつ、無投票でずっと続くのかっていうのが僕もちょっとよくわからないんですけど、その辺は、

何ていうのか、ほかの、財産のあるところみたいに、できないのか。

直接、これの説明とは関係ないかもしれないけど、これからもそういうことがあるんやったら、何かならんのかなと思ったりもするんですけど、いかがでしょうか。

選挙管理委員会 先ほど御指摘いただきました件ですけれども御指摘のとおりですねこれまで畑財産区については、地方自治法で規定された財産区ということで、旧の畑村から篠山町になったときにですね、できたものというふうに理解をしております。

それぞれの地域で旧の町なり村の財産を管理しているという事例はあるようですけれども、地方自治法に基づく財産区として、整理されているのは、この畑財産区だけということで、地方自治法で整理された畑財産区につきましては、当然公職選挙法の規定で、選挙するということになっておりますので、これがこれまでですね、無投票できたということでございます。これをですね、財産区以外の方法で管理するかどうか、ということについては、それは、財産区のほうで判断されるということになると思いますので、選挙管理委員会としては、行わなければならない選挙を執行するという立場でございます。

恒田委員 畑財産区の名称、篠山町ではなく、丹波篠山市。畑財産区財政調整基金条例という名称が変わってるんですけども条例のほうは、変わってますよね。基金条例のほうは、丹波篠山市畑財産区財政調整基金条例という条例は名称が変わってるんですけども、篠山町畑財産区議会議員選挙ですけど、名称が違うんですけどそれは大丈夫。

選挙管理委員会 私どもは選挙執行するという立場でございますので、篠山町畑財産区議会設置条例で規定された中での執行ということになります。

恒田委員 でも名称が丹波篠山市になっている。名称が変わってるはずだと思うんです。

隅田座長 後刻、また、畑財産区にも聞いていただいて、その名称の件が、どういうふうになるのか、また、説明願えればと思います。

■議員協議

隅田座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 意見等なし —

— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第82号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第7号）

— 修正・反対等の意見なし —

隅田座長

この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

13：25 散会